



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 ユニデンホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6815 URL http://www.uniden.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 邦尚
 問合せ先責任者 (役職名) 部長 (氏名) 加藤 美樹 (TEL) 03-5543-2812
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	11,928	22.5	1,738	73.9	1,799	96.0	1,522	104.9
29年3月期第3四半期	9,734	△3.0	1,000	—	918	—	743	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,709百万円(174.0%) 29年3月期第3四半期 623百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年3月期第3四半期	25	89	—	—
29年3月期第3四半期	12	63	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	36,912	29,061	77.9
29年3月期	35,543	27,648	77.2

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 28,750百万円 29年3月期 27,438百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
29年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00	—
30年3月期	—	0.00	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

期末の配当金につきましては、現時点では未定であります。詳細は、「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	16,680	27.4	2,610	110.2	2,600	81.5	2,200	48.8	37	39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期3Q	63,139,649株	29年3月期	63,139,649株
30年3月期3Q	4,319,610株	29年3月期	4,309,922株
30年3月期3Q	58,825,201株	29年3月期3Q	58,837,039株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、平成30年3月期の配当予想につきましては、引き続き未定とさせていただきますが、今後の業績動向を勘案したうえで、改めて公表いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、売上高および営業利益を重要な経営指標と位置付けており、エレクトロニクス事業においては、ドライブレコーダー、レーダーディテクター、車載用モニターの新機種などの新規製品を積極的に販売展開しております。また、前年度に引き続き、生産コストや販売費及び一般管理費の見直しを継続的に実施しております。さらに、不動産事業において、積極的に売買を展開した結果、当社グループ全体では、前年度と比較して売上高および営業利益が大幅に増加しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高11,928百万円(前年同期比22.5%増)、営業利益1,738百万円(前年同期比73.9%増)、経常利益1,799百万円(前年同期比96.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,522百万円(前年同期比104.9%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

《エレクトロニクス事業》

当事業では、主に、無線通信・応用機器、デジタル家電機器、電話関連機器の製造販売を行ってまいりました。当事業の売上高は9,752百万円(前年同期比10.7%増)となりました。製品区分別の内訳は主に次のとおりであります。

[無線通信・応用機器]

当区分では、北米市場においてドライブレコーダーおよびCB無線機器の販売数量が好調に推移致しました。オセアニア市場においては、UCB無線機器およびセキュリティカメラの売上も好調に推移しましたが、スキャナーラジオは、前期の特別需要が終了したため、台数、売上ともに減少致しました。

一方、東南アジア市場においては、海上無線機の新規顧客を獲得することができ、その結果、当区分全体では売上台数79万台(前年同期比1.3%減)、売上高5,773百万円(前年同期比5.9%増)となりました。

[デジタル家電機器]

当区分では、国内市場での車載用モニターの新規モデルの投入により販売金額が増加し、当区分全体では、売上高1,008百万円(前年同期比8.8%増)となりました。

[電話関連機器]

当区分では、全体的に市場規模の縮小傾向により、当区分全体では売上台数41万台(前年同期比11.6%減)、売上高は1,759百万円(前年同期比3.9%減)となりました。

《不動産事業》

当事業では、前期までで賃貸事業において安定的に収益をあげられる体制を整えることができたため、今期においては販売事業を積極的に推し進めました。当事業全体では、売上高2,227百万円(前年同期比140.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は19,768百万円(前期末比1,812百万円増)となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が949百万円、現金及び預金が720百万円、販売用不動産が636百万円、それぞれ増加し、商品及び製品が377百万円、その他流動資産が212百万円、仕掛品が37百万円、それぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産は17,144百万円(前期末比442百万円減)となりました。これは、有形固定資産が290百万円、投資その他の資産が126百万円、無形固定資産が26百万円、それぞれ減少したことによるものです。

この結果、資産合計は36,912百万円(前期末比1,369百万円増)となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は3,992百万円(前期末比102百万円減)となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が167百万円、未払費用が59百万円、その他流動負債が16百万円、それぞれ減少し、賞与引当金が56百万円、役員賞与引当金が46百万円、未払法人税等が25百万円、それぞれ増加したこと等によるものです。

固定負債は3,858百万円(前期末比58百万円増)となりました。

この結果、負債合計は7,851百万円(前期末比43百万円減)となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は29,061百万円(前期末比1,412百万円増)となりました。これは、主として利益剰余金が1,522百万円、非支配株主持分が101百万円、為替換算調整勘定が85百万円、それぞれ増加し、資本剰余金が294百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月15日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,524	8,244
受取手形及び売掛金	3,091	4,041
商品及び製品	1,265	887
販売用不動産	4,446	5,082
仕掛品	214	176
原材料及び貯蔵品	816	790
繰延税金資産	60	221
その他	564	351
貸倒引当金	△26	△27
流動資産合計	17,956	19,768
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,401	2,313
機械装置及び運搬具（純額）	145	140
工具、器具及び備品（純額）	286	355
土地	13,059	12,806
建設仮勘定	78	65
有形固定資産合計	15,970	15,679
無形固定資産	244	217
投資その他の資産		
投資有価証券	692	706
その他	803	662
貸倒引当金	△123	△123
投資その他の資産合計	1,372	1,246
固定資産合計	17,587	17,144
資産合計	35,543	36,912

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,085	918
短期借入金	551	554
1年内返済予定の長期借入金	155	164
未払費用	1,055	995
未払法人税等	560	586
賞与引当金	97	154
役員賞与引当金	13	60
製品保証引当金	31	30
その他	544	527
流動負債合計	4,094	3,992
固定負債		
長期借入金	3,382	3,405
その他	417	453
固定負債合計	3,799	3,858
負債合計	7,894	7,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,000	18,000
資本剰余金	29,145	28,851
利益剰余金	△1,709	△186
自己株式	△7,331	△7,334
株主資本合計	38,104	39,330
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△10,666	△10,580
その他の包括利益累計額合計	△10,666	△10,580
非支配株主持分	210	311
純資産合計	27,648	29,061
負債純資産合計	35,543	36,912

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	9,734	11,928
売上原価	6,085	7,335
売上総利益	3,648	4,592
販売費及び一般管理費	2,648	2,853
営業利益	1,000	1,738
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	1	1
為替差益	—	61
デリバティブ評価益	—	0
持分法による投資利益	—	0
作業くず売却益	1	2
その他	4	5
営業外収益合計	10	79
営業外費用		
支払利息	13	15
為替差損	56	—
デリバティブ評価損	15	—
寄付金	2	1
持分法による投資損失	1	—
その他	3	2
営業外費用合計	92	19
経常利益	918	1,799
特別利益		
固定資産売却益	20	57
和解による債務免除益	29	—
特別利益合計	50	57
特別損失		
固定資産除売却損	5	13
特別損失合計	5	13
税金等調整前四半期純利益	963	1,842
法人税、住民税及び事業税	273	208
法人税等調整額	△53	10
法人税等合計	219	218
四半期純利益	743	1,624
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	101
親会社株主に帰属する四半期純利益	743	1,522

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	743	1,624
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△93	71
持分法適用会社に対する持分相当額	△26	13
その他の包括利益合計	△119	85
四半期包括利益	623	1,709
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	623	1,608
非支配株主に係る四半期包括利益	—	101

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	エレクトロ ニクス事業	不動産事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	8,806	927	9,734	9,734	—	9,734
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,806	927	9,734	9,734	—	9,734
セグメント利益	654	345	1,000	1,000	—	1,000

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	エレクトロ ニクス事業	不動産事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	9,700	2,227	11,928	11,928	—	11,928
セグメント間の内部 売上高又は振替高	51	—	51	51	△51	—
計	9,752	2,227	11,980	11,980	△51	11,928
セグメント利益	1,264	474	1,738	1,738	—	1,738

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。